

街の情報掲示板



◎親子で秋の五天山公園を楽しむイベント

西区環境まちづくり協議会では「親子でエコキッズ・プログラムinAUTUMN」の参加者を募集している。

自然を生かした様々なゲームを通して、親子で秋の五天山公園を満喫するイベント。詳細は以下の通り。

【親子でエコキッズ・プログラム】開催は9月10日(金)午前10時～正午。対象は西区在住の2歳以上の未就園児と保護者。対象年齢未満の子ども同伴も可能。五天山公園集合、雨天時は会場を変更して実施。定員は10組20人。

参加希望者は8月30日(月)午後5時までに必着で、ハガキ・FAX・Eメールのいずれかで申し込み。イベント名・郵便番号・住所・保護者と子どもの氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・Eメールアドレスを明記の上で応募。多数時抽選。結果は9月3日(金)頃に郵送で通知。

申し込み及び詳細問い合わせは〒063-8612西区琴似2-7 西区環境まちづくり協議会事務局(西区地域振興課内)、☎641-6926、FAX641-2455、Eメールeco-yamabee@city.sapporo.jpまで。

なお新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、内容が変更または中止となる場合もある。

◎西消防署から

1月から7月上旬にかけて西区内で20件の火災が発生し、5人の方が亡くなりました。

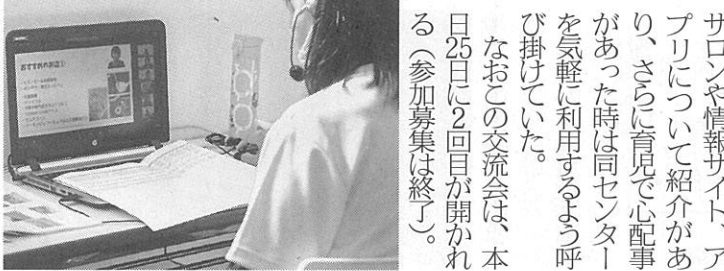
ともに昨年に比べて増加しています。「住宅用火災警報器」の点検や電池交換などを行いましょう。

また、65歳以上の方を対象とした「自動消火装置」の設置費助成事業を実施していますので、詳しくはお問い合わせください。問い合わせ先は☎667-2100西消防署予防課まで。



スタッフは中央区にあるオフィスから手遊びを伝えたり相談に乗ったりした

ネットを利用した「ウェルカム!西区転入者子育て交流会」が先月28日に開かれた。主催は西保健センター。



この交流会は、西区に転入してきた子育て世代の人たちが孤立せず、安心して育児ができるようにと2年前から始まった。転入者という共通点がある仲間づくりの目的もある。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、直接集まるのではなくオンラインで開催。今回も引き続きリモート参加となり、0～3歳の子どもと保護者9組が有意義な時間を過ごした。

進行役はマインイベントの企画・運営などを行っている「hug cafe」のメンバーが担当。交流会の前には、西保健センターの保育士が親子でできるふれあい遊びを紹介した。親子は画面内の保育士の動きに合わせて、手遊び「げんこつやまのたぬき」など

札幌での生活快適に

今年もリモートで開催「ウェルカム!西区転入者子育て交流会」

をして緊張をほぐした。進行役から「子育て中の悩みを共有しましょう」とのあいさつがあった。交流会はスタート。参加者からは「北海道で冬を過ごすのは初めてだから不安」「これから幼稚園を探し始めるべきか」などの悩みが寄せられていた。保健師・保育士が質問に答えたりしながら、情報交換が行われた。

また西保健センターの職員から子育てに関するサロンや情報サイト、アプリについて紹介があり、さらに育児で心配事があった時は同センターを気軽に利用するよう呼び掛けていた。

なおこの交流会は、本日25日に2回目が開かれる(参加募集は終了)。

わらべとひよどりママのふれあい通信

縄文文化に触れる機会

待ちに待った世界遺産決定のニュースが飛びこんできました。ユネスコの世界遺産委員会は7月27日、北海道と青森県、岩手県、秋田県に点在する17の縄文時代の遺跡が構成される「北海道・東北の縄文遺跡群」を世界文化遺産に登録することを決めました。

国内の文化遺産は20件目で、紀元前の遺跡は初めてです。登録勧告は満点近くまでの評価をいただいたことが報道されており、今まで携わってこられた皆さまの気持ちをお察し致します。おめでとうございます。

私は平成21年、北海道立近代美術館で開催された「土と炎」展で古代を夢見るやきものアートに足繁く通ったことが思い出されたり。縄文時代の数々の展示物。その中に素晴らしい文様がある大甕を見つけた。

これを作ったみたいと陶芸の先生にたずねたところ、ころよく教えて下さりました。あまり大きな物ではなく、膝に挟んで打ち鳴らす珍しい物でした。その陶器に革を張り、周りを文様のヒモで締めます。

出来上がりは少し時間がかかりましたが、とても良い音色を出し、私は時々打ち鳴らして縄文の時代にちよつと足を踏み入れています。

土器や文化にはもともと興味がありました。近代美術館の展示には驚きました。北海道・東北の縄文遺跡群も1万年以上続いた縄文時代の豊かな文化を今に伝えています。これらの遺跡は未来の人類へのプレゼント。



http://digi-sap.com

PC販売・修理 高田商会

代表 高田和彦

TEL 050-7500-8502

E-mail mxe02241@lapis.plala.or.jp

〒065-0020 札幌市東区北20条東21丁目3-25 和子マンション1-103

WEBショップ ミジックサッポロ

E-mail info@digi-sap.com

好評発売中

北海道遺産完全ガイド

●佐藤圭樹 著 A5判・208頁 定価1870円

北海道の魅力がこの一冊に。石狩川、五稜郭、摩周湖、旭橋、アイヌ語地名など北海道の自然、歴史、文化、産業から選定された全67件の「北海道遺産」を詳細に解説。雑学も満載で、知れば知るほどおもしろく、楽しみながら北海道を学べる本です。

～未来につながる17の約束～西区SDGsフォトコンテスト

西区は環境推進区として「持続可能なまちづくり」を目指しており、SDGs(持続可能な開発目標)の情報発信や普及啓発などを通じて、市民・企業等が連携しながら、SDGsの達成に取り組んでいます。その一環として、日々の暮らしの中でSDGsを意識するきっかけづくりとして、「西区SDGsフォトコンテスト」を開催します。

1 募集テーマ

身近なところからSDGs(持続可能な開発目標)を考え、多くの方々がSDGsの17のゴールを意識するきっかけとなるような写真をお寄せください。

2 応募期間

6月25日(金曜日)～9月24日(金曜日)

3 応募資格

どなたでも応募できます。国籍、居住、年齢、経歴(プロ・アマチュア)を問いません。ただし、未成年の方が応募する場合は、保護者の同意が必要です。

4 応募内容

・札幌市西区内で撮影した、もしくは札幌市西区にちなみ写真(※)で、自然や景色、街並み、人々の暮らし、働く姿、ジェンダー平等、健康、福祉の増進に関するものなど、SDGsの17のゴールを意識するきっかけになるような写真とします。なお、撮影時期に制限はありません。

※西区で生産されたもの(食料や製品)、区外から撮影した西区の風景、西区のキャラクターが写っている写真など、西区との関係性が伝わるもの。

(1) 一般・中学生の部(共通)

・1人につき3作品まで応募可能です。なお、1作品は1枚の写真に限り(組写真不可)。

・1作品ごとに、

①SDGsのどのゴールを意識したのかを選択してください(複数選択可)。

②選択したSDGsと作品に込めた思いについて、150文字程度のメッセージを添えてください(必須)。

(2) 小学生以下の部

・1人につき3作品まで応募可能です。なお、1作品は1枚の写真に限り(組写真不可)。

・1作品ごとに、

①写真に添えるSDGsのゴール1つ以上を選んでください。

②100字以内でメッセージを書いてください(必須)。

5 スケジュール

・応募締切 9月24日(金曜日) ※郵送の場合は当日消印有効

・審査 10月下旬

・結果発表 10月末頃(西区ホームページに掲載。入賞者には直接お知らせいたします)

6 主催など

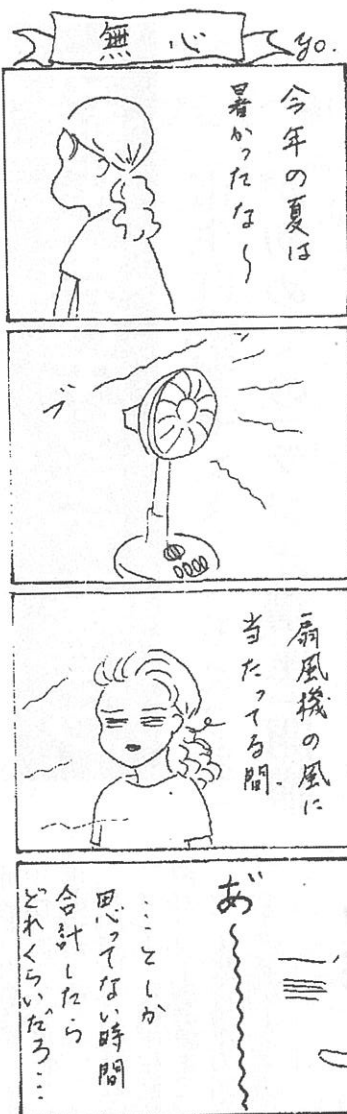
共催：札幌市西区役所、札幌市環境局

協賛：石屋製菓株式会社

後援：外務省、西区環境まちづくり協議会

協力：株式会社らむれず、NPO法人環境り・ふれんず

※規定や応募方法、SDGsの17のゴールについては、西区のホームページをご確認ください。



最初に10曲以上を演奏した忍弥さん



忍弥さんの三味線演奏と共に怪談を披露する秋元さん



福井地区で三味線演奏と怪談 のコラボイベントを初開催

怪談で「夏の涼」を

三味線演奏と怪談のコラボイベント「源八の沢 怪譚(かいだん)」が先月22日、西区福井にあるワンダーランドサッポロで初めて開かれた。

西区琴似で燗製バーを営んでいる秋元安彦さんが「コロナ禍に負けずにユニークな企画を」と考えたイベント。ワンダーランドサッポロ代表取締役の藤光慎一さんと秋元さんが知人だったことから開催に繋がった。

日中はタロット・ダウジング・手相などの占いやヒーリングのワークショップを開催。日が暮れてから、三味線演奏と怪談が始まった。

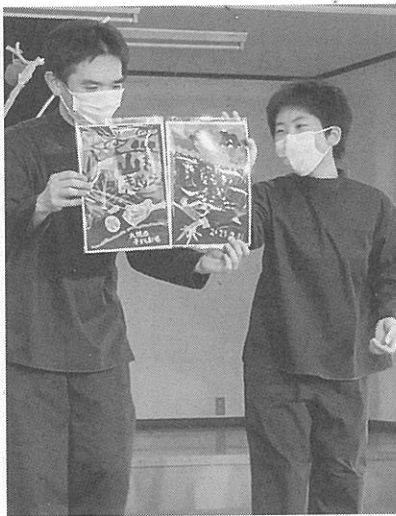
まず三味線演奏が行われ、日本一決定戦で優勝した経験もある「忍弥(NIYA)」さんが津軽じょんがら節や花笠音頭、炭坑節など10曲以上を演奏。観客は思いおもいに聞き入っていた。

陰陽師が安全祈願をし、オリジナルの怪奇映像が上映された後、札幌市内を中心に怪談師として活動している秋元さんが登場。忍弥さんが効果音などを伴奏する中、「海」「ツリーキング」「洞窟」をテーマにした3本の怪談を披露した。

秋元さんは「話の展開に合わせて、絶妙な音楽を奏でてくれました」と三味線とのコラボを振り返っていた。

幼い時から生の舞台の素晴らしさ体験

札幌西子ども劇場が「劇団 風の子北海道」招いて公演



子どもたちを魅了した

札幌西子ども劇場の「てくてく公演」が先月25日、発寒福祉会館で開かれた。幼児・小学生と保護者が午前の部に約40人、午後の部に約30人が参加した。

札幌西子ども劇場は、子どもたちの年齢に合わせた生の舞台鑑賞と自主活動をしている団体。今回の「てくてく公演」は幼児とその保護者向けで、劇団風の子北海道を招き「山を越え 川を越え」を観劇した。

スタッフはチラシ・ポスターを手作りしたり、それを公園で配布したり、発寒地区にある事務所前に掲示用の看板を作ったりと、本番に向けて準備を進めてきた。

「山を越え 川を越え」は2人組が、時間を忘れて水や土で遊ぶように、新聞紙やビニール袋で実際に遊んでみせる演劇。鑑賞した子どもたちは、楽しそうな2人組の様子を笑顔で見つめていた。

同劇場では「たぐさん」の嬉しい感想をいただき、新型コロナに負けない、次の活動に向けて動き出した」と話していた。

なお札幌西子ども劇場では会員を募集中。詳細問い合わせは☎795-1372(フリーダイヤル)までご連絡下さい。



生の舞台の魅力に触れる

◇各パークゴルフ大会結果◇

(敬称略、数字はスコア)

◎第28回西区パークゴルフ協会(団体戦)大会(7月25日・いしかりパークゴルフ場・36ホール・ハンディなし。1チーム5人)

①GII(茶木悟、武田賢治、大沼寛、大沼美智子、白澤公利) 497②西野第二(藤木伸智、渡辺敏雄、渡辺禎規、渡辺よし子、山田のり子) 500③札幌遊々(小広川雅市、杉本和久、厚海勇一、神谷恵子、神谷正) 504④平和(梶山裕次、小西綾子、荒井治夫、副島豊、高橋金太郎) 513⑤発寒北(金澤泰治、松本房男、吉田隆司、田代栄光、吉岡みえ子) 515

Pパークゴルフニュース

道新ミニコミ紙「ウオウ」に広告を載せてみませんか？
広告料金やサービスなどの詳細はお問い合わせ下さい。☎795-1372(フリーダイヤル)か、メール thensyu@cc.biglobe.ne.jp「編集員 楽部310」ウオウ担当係までご連絡下さい。

自転車乗車時の交通事故防止

夜間においては、ライトの点灯はもとより、**反射器材を装着しましょう！**
※道路交通法で夜間は前方のライトを点灯すること、後方のライトを点灯又は反射器材を装着することが規定されているほか、北海道自転車条例で夜間においては自転車の側面に反射機材を装着するよう努めなければならないとされています。

自転車のライトや反射器材だけでは目立たないので、事故防止のため、自転車に乗車する方自身も**反射材用品を着用してください！**

自転車乗車時は、交通ルールを守ることとはもとより、**乗車用ヘルメットを着用しましょう！**

※北海道自転車条例で自転車利用者は、乗車用ヘルメットを着用するよう努めなければならないとされています。

各事業所においても交通事故防止に努めてください！

「北海道自転車条例」
第8条(事業者の役割)
第2項 事業者は、その事業活動において従業員その他の者に自転車を利用させるときは、自転車関係法令を遵守させるとともに、乗車用ヘルメットの着用を推奨するものとする。

※情報提供～警察本部交通部

農試公園でノルディックウォーキング ボールの無料貸し出しをしています

ノルディックウォーキングを活用した健康づくりに取り組んでいただけるよう、農試公園(ツインキャップ)でノルディックウォーキングボールの無料貸し出しをしています。
気軽に楽しめますのでお越しください。

対象 小学生以上の札幌市民の方。

受付時間 9時から19時30分まで。ただし、毎月第4月曜日(祝日の場合は翌日火曜日)は、9時から15時30分まで。

利用時間 貸出当日のみ、20時30分まで。ただし、毎月第4月曜日(祝日の場合は翌日火曜日)は、当日16時30分まで。

利用場所 西区内のみ。

問合せ先 農試公園管理事務所(八軒5西6)

☎615-3680

気軽に「古代ギリシア」学ぼう

市生涯学習センター「ちえりあ」が初めての「ラジオ講座」開講

札幌市生涯学習センター「ちえりあ」では、自宅で気軽に学べる「ラジオ講座」を初めて開催する。新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで中止・延期になっていた講座が、ついに開催される。今回は「古代ギリシア」をテーマに、3週にわたって放送する。

今回行われるラジオ講座は「手嶋兼輔 古代ギリシアへの誘い」講師を務める手嶋兼輔さんは、さっぽろ市民力プロジェクトの「ラジオ講座」解説・現代史の番組自体は誰でも無料で聞ける。

三角山放送局での放送日時は8月28日(土)、9月4日(土)、9月11日(土)の午後5時30分から6時30分まで。ラジオで聞きたい方は、FMラジオやカーラジオで聞ける。電波状況のよい場所でお聞きください。

※注意:「radiko(ラジオ)」では聞けません

ラジオ放送講座の2パターンの聞き方

<1> ラジオで聞く

西区周辺にお住まいの方

放送時間に合わせて、FMラジオで三角山放送局(FM76.2MHz)を選局して聞きます。ラジオ放送エリア内であれば、お持ちのFMラジオやカーラジオで聞くことができます。電波状況のよい場所でお聞きください。

<2> インターネットで聞く

パソコン・スマートフォン・タブレットで

「LISTEN RADIO」(リスンラジオ)というウェブサイトやアプリを使用し、ラジオの放送と同時刻に番組を聞きます。リスンラジオのウェブサイトを開き(スマホの方はアプリをダウンロードの上)、放送局の中から「三角山放送局」を選んで再生してください。

※注意:「radiko(ラジオ)」では聞けません

前8時〜午前9時。同日午後6時〜午後7時には再放送がある。詳細問い合わせは011-231-1札幌市生涯学習センター事業課まで。ラジオ放送講座の聞き方は左上の別枠を参照。

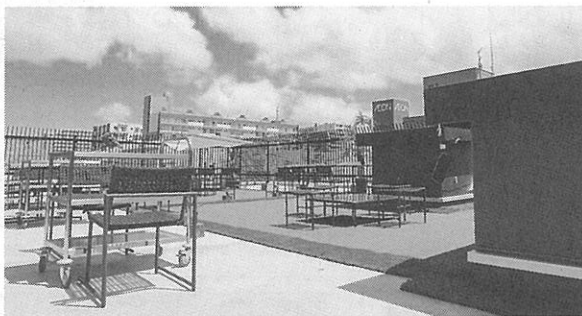
暑い日に少しの「涼」を提供

今月末まで五天山公園に「ミストシャワー」

18日連続で真夏日を記録し、35度を超える「猛暑日」も複数日あった札幌市。市民の憩いの場である五天山公園(福井423)に、今年も「ミストシャワー」を設置し、暑い日に少しでも涼を提供している。このミストシャワーは、同公園を管理している五天山・宮内パークマネージメントグループでは、ほんの少しでも「涼」を感じてもらいたいという思いで、今年も設置している。このミストシャワーは、同公園を管理している五天山・宮内パークマネージメントグループでは、ほんの少しでも「涼」を感じてもらいたいという思いで、今年も設置している。



涼しさを感じることができる



来場者は食事を楽しむながら、昔ながらの栽培方法で取れた野菜もおいしいね。など話して、開拓の歴史に思いをはせていた。なお新型コロナウイルス感染症の影響で、入場人数などが制限されていたほか、料理のテイクアウトも行われた。

また来場者は、屯田兵について詳しく知るパンフレットも手渡されていた。

食事を通して地域の昔を思う

歴史の屯田兵の似琴ふれあいフェア

れあいフェア」が先月30日と31日、ホテルコトニ札幌屋上のコトニガーデン写真左リで開かれた。主催は琴似地区まちづくり協議会。

新型コロナウイルスの影響により様々な地域イベントが中止される中、琴似屯田兵の歴史などを学び、また地域への思いを深めてもらうと企画されたイベント。

初日は「屯田おろし唐揚げ」など3種類50人分のメニューが用意された。料理で使用されたアイコンやジャガイモなどの野菜は、琴似連合町内会と屯田菜園実行委員会が管理している琴似屯田兵村兵屋跡の菜園で収穫されたもの。



好評発売中

北海道夏山ガイド2 表大雪の山々 最新第2版

●梅沢俊・菅原靖彦・長谷川哲 著 B6判・272頁 定価2530円

人気の夏山ガイドシリーズの第2巻「表大雪の山々」が8年ぶりとなる大幅改定。登山コースが再開となった松仙園、沼ノ原の最新情報を掲載したほか、イラストマップ、写真の多くを更新。新機軸として、山域に咲く魅力的な野の花を紹介するミニ図鑑の特集「大雪山の花」も収録。

好評発売中

函館山 花しるべ

●藤島齊 著 B6判・176頁 定価1430円

都市近郊の山としては特筆すべき、豊かな植物相を誇る「花の函館山」。移住者である著者が、山頂からの夜景観望ばかりではない函館山の魅力を、春夏秋冬に観察できる159種の植物等の写真に、多彩なエピソードを盛り込んだ文章を添え紹介。巻末では12ある函館山登山コースの特徴を、地図を添えガイドしています。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響で催しが中止・延期になったり、内容が変更になる場合があると考えられます。事前に主催者にご確認ください。



▼6月25日(金)〜9月24日(金) 西区SDGsフットコンテスト作品募集期間(詳細2面) ▼9月4日(土) 西区コトニ自然学

公共施設から

生涯学習センター

ちえりあ(宮の沢1-1-1)

011-231-1

西区地区センター

011-231-1

西区地区センター

011-231-1

西区地区センター

011-231-1

広告の掲載 情報の提供

●FAX 783-2076

編集倶楽部310まで

ウォーク雑記

◎…昨年書いたように記憶しています

◎…先に書いたように、今年も暑い夏でした

◎…外出する時はマスク着用です

◎…先週、市内ではマラソンや競歩が行われ、暑い中での大会でした



洗車場の営業時間(午前6時から午後11時まで)で、無休。問い合わせはヤナガワ自動車 011-731-2611へ。

洗ったら「アメ車」?

枕木の壁にレトロな雰囲気のアメリカのフリー看板がずらり写真の看板をのり付けた。看板には「アメ車」の文字が、ディーラー、プレスリー、のスターや、自動車、飲料などの広告、道路標識など、業者を通じてアメリカから取り寄せたさまざまな図柄がある。看板をバックに記念写真を撮り、家族連れもいたという。

洗車場の営業時間(午前6時から午後11時まで)で、無休。問い合わせはヤナガワ自動車 011-731-2611へ。